

あなたに

出逢えて：

——第一一四号——

瑠璃さん

四月に熊本地震という震災がありまして、こちらの方で物資をお預かり頂いたり、春美先生や正春社長等色々な方の人脈で現地にお運び頂いたり、春美会の皆様方に置いてても当番制で関わってあり、紙にスケジュールを記入し貼ってあるものを見ると春美会って凄いなど感じました。

私たちの力はどれくらいあるのかというのは、社会に出て図っているわけではないですけど、本当に結束力が凄いなというのをつくづく感じた震災の後でした。

どなたがどなたの役割というのは、しゃしゃり出をするわけではなく、本当に自分の出来ることを自分の出来る範囲で一所懸命勤めてらしたし、先生はじめ現地にお行きになられた方々もいらっしやいましたけど、その事を目の当たりにしていない私達も、実情が伝わってくるような状況だったと思います。

春美先生、よろしくお願い致します。

春美先生

今回、本当に予期せぬ事で地震がございました。

「被災地に物資を送りますから」と連絡がありまして、中継所という事をお願いされました。日本を美しくする会の方と便教会の方から連絡が来ましたので、全国区から物資が届き驚きました。

私は石巻の方に何回か行かせて頂いて、そちらの方からも電話がありまして、「送らせて頂きますので、必要なものを仰ってください」と言われ、すぐそれが有難かったですね。

一番胸いっぱいになりましたのは、皆さんの結束が強くて一生懸命なさっているのが空気で伝わってきて、私は私の形で頑張ろうと思っていましてお写経をずっと書いていてそれを持って行っていただき、「枕の中に入れてる」とか仰って下さり、有り難かったなと思います。それと二日間で『おみくじ』を五百人分書いたんですよ。

何故書いたかといいますと、義捐金が一番必要だなと思いましたので、美帆さんのブログでいつも紹介して頂いて応募がたくさんあるという事だったので、五百人分書いて五セットにして百ケース出そうと、それを書かせて頂いたのですが、二日間であっという間に出来ました。

それが何故出来たかと言いますと、春美会の皆さんが凄く頑張ってあって、動いていらっ

しやる空氣がこっちまで漂ってきたので出来たのではないかと思いました。

そして白鳥先生や色んな先生方が凄く評価されて、いつも春美会で学んであるから自信もって動かれ、そういう皆さんの心がズシズシズシと入って参りまして、やっぱり春美会って私の根元なんだな、そして春美会があるから今こうして歩んでいけるな、という事をまた再確認しました。

私も皆さん共々学んできて、いつも見えない所で感じていると言いますか、実際春美会の日でなくとも、普段の時から春美会があるから、春美会の存在があるから私はこんなに幸せなんだと毎日思わない日が無いんですよ。

今回の地震で実際私も被災地に行きました時に、品物を下して直接に車で生活している人が取りに來たりで、目の当たりにしますと在庫にならないと確認できたり、言葉では表現できないんですけど、鍵山先生がいつも仰つてある『して良かった』。"すれば良かったではなく、して良かった"

皆さんが手伝われた時が一番大変で、物資を直接運べない時で大牟田からだと直接運べるからという時で、息子の正春も本当に頑張つて運んでくれました。

直接埜口先生から連絡があった時には、食べ物も「何が欲しいです、これが欲しいです。」と言われまして、私もすぐ買い出しに行きましたが、大年田でも水が無くなったり、一人で動くより皆でと思い連絡をさせて頂きました。それで色々な物が集まりまして、運んでもらうという感じてしたね。

埜口先生の顔を見たときは、震災から数日しか経っていませんでしたから、埜口先生の奥様とか「先生ハグして下さい」と言われ抱っこしたら、涙がボトボト落ちてどんなに苦しかったのかなと思ひまして、複雑な気持ちで帰ってきました。

けどいつ自分がこういう境遇になるかわからないし、実際その場に立ってみないと分からないんですよね。

石巻にも何回か行かせていただき現地を見てきて、それと今回の熊本とか色んなのを考えさせて頂くと、実際自分の横まで来ているんですよね。こういう時こそさせて頂いて、そういう気持ちというのは空気で伝わりますから、励みにもなるんですよね。

「待っていました」と言わんばかりに物資を取りに見えたとき、良かったとつくづく思いました。最初は食べ物足りず、被災地に行った時には病気になるんではとも思いました。

ね。

物資のボランティアをすることで、どれだけ被災者の気持ちが助かっていかれたかと思えます。だけどまだまだ終わっていないし、続けていく必要がありますね。

今日は皆さんボランティアされ考えた事とか、お一人お一人話を聞きたいという気持ちがとてもあります。ボランティアと言いましたけれど、これは言葉じゃないと思いますね。お手伝いが出来たという事と、皆さんが必死で自分の役目をされたという事は、どれだけ大きい事をなさったんだと思います。

皆さんのところが嬉しくて嬉しくて、なかなかこういう心になれないし、お互い人を立てながら輪を持ってされたボランティア活動が一番嬉しかったです。

やはり学校の先生たちがされているトイレ掃除も、本当に志持って動いてあるし、私はお掃除で気付きがあったのは、先生たちのトイレ掃除の姿と生徒たちの始める前と後の目の輝きとかを感じて、鍵山先生がされてきた事はくだなと気付かせて頂きました。

今回はそれに繋がったなと思いましたね。春美会はこころ磨きなんで、心を一生懸命磨いているんですよ。トイレ掃除もこころ磨きなんですよ。だからそこが重なって、その磨きが

あるからこそボラレティアもサッと行動出来ましたし、また喜んでされてそのチームワークが凄いなと思いました。

これは皆さんの結束力と何とも言えないその心というのは、みなさん銘々がつくられてそこに結果として出ていますが、これは簡単には出来ないなと思っています。

色んな会がありますけど、こころ磨きで磨いて磨いて磨いてくれたこそ、そのころで接する事が出来てまたその心によって動いてと計算も何も無償なんですよ。そこを感じた時が、嬉しくて嬉しくて、有り難くて、春美会は財産だなと思いました。

被災地の苦しみや悲しみは、私達には限界やできる範囲があると思うんです。

あとは行政や色んな所が動くんですけども、できる範囲でこういう心さえあったのならば届くし、伝わっていくと思うんです。だから本当にこころ磨きをされていたんだと感じ、間違いでなかったと思いました。

そして石巻の方たちからも電話が何度かあり、その方々と繋がったなと思いますし、石巻の方々は「自分たちも同じ思いしていますから」と言ってお下がり、頭下がる思いでした。またそういう大事な役目が出来たという事が、春美会に「させて頂く」という徳があるんでは

ないかと思いました。

これが一つのきっかけとなって、もっと磨いていかれたなら、家族とか周りが自然と落ち着きますし、種をまくという事が大事で、もちろん芽が出て花が咲くに越したことはないですが、芽しか出ず苦しいかもしれないませんが、種をまく事が出来たという事は凄い事ですよ。忘れているのが全てに繋がるんですよ。家族に子供に周りに繋がるんですよ。

ボラレティアしたいという気持ちがあっても、できないし、そういうルーツがなかったらできないし、きちんとしたルーツがあったから出来たのだと。

私は本当に幸せだと思いました。有難うございました。

瑠璃さん

春美会の皆さん、どなたが何をしたという事ではなく、たくさんのメールが春美会でも回りまして、思い思いに自分に出来ることは何だろうと感じ、私も何度か倉庫へ足を運びまして、また夜トラックに積み込んで春社長を見送りましたが、その見送るのが不敏で母親のような気持でした。

家ではたまたま熊本に居ました次男が帰ってきました、マレシヨシの六階から埋もれて帰

ってきましたから、病院勤務なもので一週間病院へ勤めましたが、自分の精神状態がおかしいので、結局ストレス症候群ですね。そういう圧迫した中で自分が埋もれたという事で、家の中で寝れない状況でずっと車の中で、しかも一定の所にいるのが怖くて何かあるとすぐに外に出るという状況でした。

その息子も被災地におりましたので、自分も大年田に帰ってきたならお手伝いしなきゃという気持ちになったのだと思います。搬入に行くけどと言いましたら、自分も行くと言いまして、休みの間に手伝いをしてくれました。勤務もありましたが、鉄道は荒尾から熊本は開通しましたが、熊本からが無理だという事で、こちらから行く分には何とかなっただです。ですけど色んなボランティアの方が来られても、避難場所となっている所には物資は届くけど、自分たちは病院にいたので患者さんが第一ですので、近所のコンビニには何も無い状況で自分の所に来るのはおにぎり一個だと、帰ってから聞きました。職員の方に届くのは、おにぎり一個だったと聞きました。それが三日間くらいと言っていました。

その中でも、正春社長が山積みにしていく物を積みながら、息子も「自分が乗って行った

ほうがよくない？」と言ったんです。結局一人でいうわけですから、途中の道どうなるんだろうかと思いました。けど息子について行く方が迷惑ではないのかと思ったそうです。途中自分が体調わるくなつて出たいとなつた時とか、どれだけ時間がかかるか分からないのに、一人で行かせるのも不敏だったんですけど、一緒にお供して迷惑かけるのも申し訳ない。

けど本当に避難所以外には物資が届かないというのは事実だったらしく、患者さんは上から降ろさなくてはいけないし、お年寄りの方は足がむくむからマッサージしながら、7時間くらい座らせている状況で立ったり、座ったりさせなくてはいけない。そういう風な感じで、最初の三日間くらいは何をしていたのか、ずっとそれを繰り返していたようでした。

被災地以外で被災してある方は、どこに物資は届いているんだろうねと、本当に苦勞されたようで、先生が苦勞して集められ、皆さんも手伝われて、正春社長が頑張つて運ばれた物資はどんだけ有り難かったのかなと思ひましたね。

近隣で起きている事ですが、私達がボランティアという題目で何かできればと思つても、本当に何が出来るんだろうかと思ひます。

大年田は一月に断水しました。その時のポリタンクを知人の所へ持つて行きました。給水

車はどこでも来ているでど、汲むタンクが無い。タンクが無いので水を汲みに行けない。地下水も出なくなっていたので、友人は有り難いことにそのタンクに汲んだ水を近隣の方へ分けたと。自分の所も乏しいのにわけてあげれたという事で、とても喜んでいました。

私の所まで大阪の知人から、阪神の震災にあったお友達から「何がいる？」というメールが来たのは夜中の二時でした。早かったですね。

色んな方々から「何がいる？」「被災地に届けられる？」というメールがきたりしましたので、ここの物資を見たときに石巻・京都等色んな所から物資が来ているのを見たときに、何か凄いなと思いました。

それを仕分けして運んで持って行くという作業もすぐく大変だったとおもいますが、先生が先ほど仰ったように、どれだけ有り難かったらうなと思います。でも今から先がボランティア活動の時ではないか思います。

本当に自分たちは春美先生の元で勉強会をさせて頂いていると、ここに来る時までにはがらみを全部払って、ここに来たときだけはいっぱい詰めてかえられるような自分で来たいと思っています。今年先生方司会という大役を頂いたときに、私のようなものが出来るだろうか

という所にその時期は居りました。けどそれをさせて頂けるといふ事に、自分の勉強があるんだなど、そして色々な方に助けて頂いて自分があるんだなど、私が何かお返ししないといけないなという気持ちで毎回居ります。

春美会では、文化系にしてお掃除の会にしても、いろんな門下を開いて頂いている中で、また新たな自分磨きができる有り難い環境だと思います。また色々な方向性として今後もボラティアの活動等出てくると思いますし、春美先生に仰っていたきましたように、色々な活動に自ら参加して頂いてまた新たな発見をして頂ければと思います。

春美先生

やはり人間は限界がありますので、無理はダメなんですよ。喜んでさせて頂く気持ちの時だと、こころも楽だし。だから私は強制していませんものね。

自然の中でさせて頂いて、ほんと今回チームワークは凄いなと思いましたね。

本当に春美会に感謝いたします。

ボラレティアされた葉月さん、一言お願いします。

葉月さん

私はただお店におりましたから一番居たように見えるだけで、皆様の凄い駆けつけ方と、お約束していなくても時間が空いたから来たよと仰られる姿をみさせて頂き、私の方は凄いなと見させて頂きました。

やはり正春社長は夜一人何度かトラックを見送りましたけど、お一人で行かれる姿に思わずトラックに無事に帰ってきてねと撫でたくなる気分でした。昼間お仕事なさって、夜行かれて、あまり会話する事もなくどこへ行かれたかも分からないまま物資を積んで行かれてというような本当にお忙しい日々を送られ、その中で少しでもお役に立てる事は何だろうと考えさせて頂いたくらいです。

一か月経ちましたけど、まだこれから何かしら形を変えて役に立てることがあると良いなと思っております。本当に春美会の皆さんは、先生から不思議な力が働きますよというお言葉を頂いていたんですけど、どうしようと思った時に応援で急に来られて良かったとか、

人手が足りない時に来られ良かったとか、約束なく着て頂いて何度も助けられたなどという思いもありました。

凄い結束で、本当にところが苦にならない。させて頂いて皆さんと一緒にやっていける事が、幸せな時間でございました。有難うございます。

あとかき

地震や災害、また身の回りで何か起きた時

春美会の精神で学んできたからこそ

行動出来る喜び・思いやり

色んな事に気付く事が出来ました

“して良かった”と感謝出来るよう

自分磨きは一生だと学ばせて頂きました

第一四三回春美会

会場 漢方ピュア

日時 平成二八年五月一四日

司会 瑠璃さん